

平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月11日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東  
 コード番号 3444 URL http://www.kikuchiseisakusho.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093  
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	2,906	3.7	△24	—	23	△82.5	32	△66.5
25年4月期第2四半期	2,802	△14.7	51	△80.7	132	△47.9	96	△13.2

(注) 包括利益 26年4月期第2四半期 86百万円(△%) 25年4月期第2四半期 91百万円(20.5%)  
 5.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年4月期第2四半期	円 銭 8.74	円 銭 —
25年4月期第2四半期	26.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年4月期第2四半期	百万円 8,543	百万円 5,446	% 63.8
25年4月期	8,284	5,434	65.6

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 5,446百万円 25年4月期 5,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年4月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,840	2.9	113	—	268	48.1	160	30.5	43.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期2Q	3,695,900株	25年4月期	3,695,900株
② 期末自己株式数	26年4月期2Q	104株	25年4月期	104株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期2Q	3,695,796株	25年4月期2Q	3,695,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州の景気低迷や新興国の経済停滞の影響が懸念されるものの、政権交代後の経済・金融政策により円安・株高が進み、企業収益の一部には回復の兆しが見えるようになりました。

一方で、円安進行による原材料価格の上昇など国内景気の下振れ懸念があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループが属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、多様な技術革新の必要性は変わらず、新製品への開発投資は一部製品において抑制傾向があるものの、依然として継続されております。当社グループは、これらのメーカーを顧客として、新規開発の試作品製造や新製品の量産製造を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製作、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに、事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、新規開発試作品製造、金型製造、量産品製造全般で低水準での推移となりました。一方、介護・医療機器、新エネルギー関連分野において、ユニット・装置単位の受注が増加しております。また、中長期的な当社事業の成長に資するための研究開発活動として、マイクロローデバイス技術や自立支援装具等をはじめとした介護・医療ロボットの研鑽に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,906百万円(前年同四半期比3.7%増)となり、利益面につきましては、売上総利益は554百万円(同2.0%増)、営業損失は24百万円(前年同四半期は営業利益51百万円)となりました。以下、東日本大震災にかかる東京電力株式会社からの受取補償金、スクラップ売却収入、受取配当金等の営業外収益85百万円(同28.9%減)を加算し、二本松工場遊休賃借費用、シンジケートローン手数料及び支払利息等の営業外費用37百万円(同3.9%減)を減じた結果として、経常利益は23百万円(同82.5%減)となりました。

福島県川内村に新設しました工場に要した費用の一部として当初の予定通り福島県川内村からの補助金を受領し、特別利益115百万円を計上し、その受領した補助金を固定資産圧縮損として特別損失に104百万円計上いたしました。これに税金費用1百万円を計上した結果、四半期純利益は32百万円(同66.5%減)となりました。

なお、平成24年6月6日に発表いたしましたとおり、当社オリジナル技術であるアルミホットダイカスト技術による量産品製造工場を福島県川内村に新設いたしました。当該工場開設に要した費用460百万円のうち、115百万円につき当初の予定通り、福島県川内村からの補助金を平成25年5月に受領しましたので、前述の通り、当第1四半期で圧縮記帳の処理を実施いたしました。尚、残額については、今後、福島県への完了報告後補助金が受領となる見込みであり、当該補助金受領後、圧縮記帳をする予定です。

セグメントの概況を示すと、次のとおりです。

#### ①試作・金型事業

携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカーを顧客としておりますが、一部企業の新機種開発への投資が低水準に留まり、当社業績も厳しい展開となりました。この結果、売上高は1,990百万円(前年同四半期比4.1%増)、営業損失51百万円(前年同四半期は30百万円の営業利

益)となりました。

②量産事業

携帯電話等の情報通信機器メーカーならびに事務機器メーカーの一部製品の生産活動が低調に推移したものの、当社業績は前年並みの受注を確保でき無難な推移となりました。この結果、売上高885百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益34百万円(同50.2%増)となりました。

③その他

ガンマカメラ関連事業及びヘルスケア関連製品の販売等により、売上高は30百万円(前年同四半期比563.8%増)営業損失6百万円(前年同四半期は1百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する事項

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、8,543百万円となり、前連結会計年度末比258百万円の増加(前連結会計年度末比3.1%増)となりました。うち、流動資産は、3,961百万円となり、前連結会計年度末比160百万円の増加(同4.2%増)となりました。これは、受取手形及び売掛金が241百万円増加(同12.9%増)したことが主な要因となっております。固定資産は4,581百万円となり、前連結会計年度末比98百万円の増加(同2.2%増)となりました。

負債合計は、3,096百万円となり、前連結会計年度末比246百万円の増加(前連結会計年度末比8.6%増)となりました。うち、流動負債は、2,675百万円となり、前連結会計年度末比287百万円の増加(同12.0%増)となりました。これは、支払手形及び買掛金が93百万円増加(同18.8%増)ならびに短期借入金が増加(同16.7%増)したことが主因となっております。固定負債は、421百万円となり、前連結会計年度末比40百万円の減少(同8.9%減)となりました。

純資産は、5,446百万円となり、前連結会計年度末比12百万円の増加(同0.2%増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況に関する事項

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、938百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、418百万円の収入超過(前年同四半期は113百万円の支出超過)となりました。この主な収入要因は、税金還付による収入103百万円、固定資産圧縮損104百万円、減価償却費271百万円、仕入債務の増加額146百万円です。主な支出要因は、売上債権の増加額317百万円、たな卸資産の増加額191百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、490百万円の支出超過(同52.3%増)となりました。この主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出454百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、66百万円の収入超過(同38.4%減)となりました。この主な収入要因は、短期借入による収入200百万円です。主な支出要因は、長期借入金の返済による支出49百万円、配当金の支払額73百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月期の通期業績予想は、平成25年6月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,196,774	1,194,802
受取手形及び売掛金	1,862,426	2,103,514
商品及び製品	90,963	193,025
仕掛品	113,139	170,091
原材料及び貯蔵品	153,472	186,711
繰延税金資産	—	21,691
その他	385,765	110,590
貸倒引当金	△1,040	△18,570
流動資産合計	3,801,500	3,961,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,265,743	2,478,833
減価償却累計額	△976,752	△1,020,489
建物及び構築物 (純額)	1,288,991	1,458,343
機械装置及び運搬具	2,733,590	2,800,517
減価償却累計額	△1,474,045	△1,616,550
機械装置及び運搬具 (純額)	1,259,545	1,183,967
土地	985,483	988,667
リース資産	4,705	4,714
減価償却累計額	△3,759	△3,888
リース資産 (純額)	945	825
建設仮勘定	86,100	—
その他	454,048	511,686
減価償却累計額	△236,358	△304,149
その他 (純額)	217,689	207,537
有形固定資産合計	3,838,755	3,839,341
無形固定資産		
ソフトウェア	25,829	22,096
その他	4,735	9,468
無形固定資産合計	30,565	31,564
投資その他の資産		
投資有価証券	510,803	602,377
繰延税金資産	2,320	—
その他	105,545	190,988
貸倒引当金	△4,591	△82,794
投資その他の資産合計	614,079	710,571
固定資産合計	4,483,399	4,581,478
資産合計	8,284,900	8,543,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	499,318	593,168
短期借入金	1,200,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	98,244	90,004
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	321,995	295,421
未払費用	105,479	88,091
未払法人税等	39,270	86,434
賞与引当金	58,453	54,113
繰延税金負債	16,850	—
その他	28,840	48,269
流動負債合計	2,388,451	2,675,502
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	96,061	55,179
退職給付引当金	9,367	9,820
役員退職慰労引当金	297,036	298,413
資産除去債務	8,118	8,168
繰延税金負債	26,928	35,114
その他	14,732	14,633
固定負債合計	462,244	421,330
負債合計	2,850,695	3,096,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,434	358,434
資本剰余金	252,594	252,594
利益剰余金	4,826,289	4,784,661
自己株式	△86	△86
株主資本合計	5,437,231	5,395,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,822	192,540
為替換算調整勘定	△149,849	△141,640
その他の包括利益累計額合計	△3,027	50,899
純資産合計	5,434,204	5,446,502
負債純資産合計	8,284,900	8,543,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	2,802,724	2,906,187
売上原価	2,258,854	2,351,505
売上総利益	543,870	554,681
販売費及び一般管理費	492,082	578,841
営業利益又は営業損失(△)	51,787	△24,160
営業外収益		
受取利息	130	272
受取配当金	5,721	6,073
助成金収入	14,349	3,269
スクラップ売却収入	17,232	13,559
受取補償金	74,632	50,330
その他	7,859	11,768
営業外収益合計	119,926	85,273
営業外費用		
支払利息	4,559	5,491
為替差損	—	2,682
シンジケートローン手数料	6,524	6,541
設備賃借費用	242	242
二本松工場遊休賃借費用	21,768	21,768
その他	6,434	1,254
営業外費用合計	39,529	37,981
経常利益	132,185	23,132
特別利益		
固定資産売却益	—	153
受取補償金	32,874	—
補助金収入	—	115,000
特別利益合計	32,874	115,153
特別損失		
固定資産除却損	152	—
投資有価証券評価損	4,843	—
固定資産圧縮損	—	104,232
特別損失合計	4,996	104,232
税金等調整前四半期純利益	160,063	34,053
法人税、住民税及び事業税	32,395	43,555
法人税等調整額	31,268	△41,789
法人税等合計	63,664	1,765
少数株主損益調整前四半期純利益	96,398	32,287
四半期純利益	96,398	32,287

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	96,398	32,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,330	45,718
為替換算調整勘定	△1,139	8,208
その他の包括利益合計	△4,469	53,926
四半期包括利益	91,928	86,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,928	86,214
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	160,063	34,053
減価償却費	175,649	271,066
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,288	95,683
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46,141	△4,339
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△357	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,613	1,376
受取利息及び受取配当金	△5,851	△6,345
支払利息	4,559	5,491
シンジケートローン手数料	6,524	6,541
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,843	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△153
有形固定資産除却損	152	—
固定資産圧縮損	—	104,232
売上債権の増減額 (△は増加)	△78,514	△317,882
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△126,188	△191,804
仕入債務の増減額 (△は減少)	△93,196	146,121
その他	△34,502	167,860
小計	△24,057	311,902
利息及び配当金の受取額	4,786	5,067
利息の支払額	△4,356	△7,618
法人税等の還付による収入	—	109,100
法人税等の支払額	△89,598	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△113,225	418,451
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△90,000	△90,000
定期預金の払戻による収入	90,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△318,111	△454,511
有形固定資産の売却による収入	—	282
無形固定資産の取得による支出	△2,303	△6,297
投資有価証券の取得による支出	△1,710	△29,671
その他	160	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321,965	△490,198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	200,000
長期借入による収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△57,362	△49,122
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△73,916	△73,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,721	66,962

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,127	2,074
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△327,597	△2,711
現金及び現金同等物の期首残高	1,289,669	941,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	962,072	938,772

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,911,938	886,212	4,574	2,802,724	—	2,802,724
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	630	—	—	630	(630)	—
計	1,912,568	886,212	4,574	2,803,355	(630)	2,802,724
セグメント利益又は 損失(△)	30,125	22,988	△1,437	51,676	111	51,787

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額111千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,990,664	885,157	30,366	2,906,187	—	2,906,187
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	469	—	—	469	(469)	—
計	1,991,133	885,157	30,366	2,906,656	(469)	2,906,187
セグメント利益又は 損失(△)	△51,788	34,529	△6,955	△24,214	54	△24,160

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガンマカメラ関連事業及びヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額54千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。